

【ロシア語】

ロシア語を学ぶことはあなたの視野を広げます

なぜロシア語を学ぶのでしょうか

一橋大学でロシア語を学んでいる学生に対して以前行ったアンケートで、「なぜロシア語を選択したのか」を聞いたところ、以下のような答えが返ってきました。

1. 他人のあまりやらなそうなものをやってみたかった
2. 他の言語は勉強する機会がいつでもあるから
3. ロシアの歴史に興味がある
4. ロシアに旅行や留学がしたい
5. シベリアが好きだ
6. ロシア人とビジネスがしたい

私も「なぜロシア語（など）を勉強しようと思ったのですか？」とよく聞かれることがあるのですが、返事に困ってしまいます。言語一般が好きで、特に若いころは外国語学習が好きだったので、外国語を専攻できる大学に入り、そこで学んだのがロシア語だったというのが本当のところかもしれません。とはいえ、自分なりに深く考えてみたところ、理由がないわけではないことに気づきました。

第 1 に、一橋大学の学生とまったく同じように、人とは違うことをしてみたかったという気持ちがありました。わが国のロシア語学習者は極めて少ないというのが現状です。しかしながら、後で述べるように、ロシア語というのは実は世界の言語の中でも最も多くの人によって話されている言語のひとつです。また現代においてロシアは世界に大きな影響を与える国のひとつです。世界におけるロシア語の重要性と、わが国におけるロシア語学習者の少なさを考慮すると、ロシア語ができる人材には希少価値があると言えると思います。

第 2 に、どうせ大学で外国語を専門的に学ぶのであれば、大学は学問をするところなので、その言語で書かれた学術書の蓄積のある言語を学びたいという気持ちがありました。高校生時代の私は、実はアジアの諸言語により興味がありました。しかし大学受験の時期には、ヨーロッパの主要言語を学んだ方が学問上有益であると考えはじめるようになりました。私が中学生の頃にソ連は崩壊しましたが、私の若いころにはまだ、ロシアはアメリカとともに世界を二分する勢力であるという印象を持っている人は多かったと思います。例えば、（私の生まれる前の話とはいえ）ソ連が世界初の有人宇宙飛行の成功させた事実と、宇宙飛行士ガガーリン（Ю. А. Гагарин）の名声は、ロシアが学問水準の高い国であるという印象を与えるに十分なものでした。この判断は間違っていなかったと思います。今でこそ国際的な学会での共通語は英語一辺倒になりつつありますが、前世紀の後半まで、国際学会では英仏独露が共通語でした。それに英語一辺倒の時代がこのまま続くという保証はありません。

ロシア語で書かれた学術書は豊富にあります。研究者を目指してみればわかるのですが、ロシア語ができないと、自分の専門分野の知識を十分に得ることができないという問題に直面してしまうことがあります。ロシア語は学問をやるうえで必須の言語のひとつと言えるでしょう。

最後の理由は、今考えてみるととても幼稚なものですが、ロシア文字(キリル文字の一種)が、高校生の私にはとても魅力的に思えたからです。キリル文字は左右が反転したような文字があるとか(Я, И など)、顔文字に使うことがある文字であるとか(° Д °;) で知られている文字ですが、ロシア語を含め、ウクライナ語、ブルガリア語、セルビア語などのスラブ諸語の一部で用いられています。スラブ諸語以外では、中央アジアのカザフ語、キルギス語、タジク語や、さらにはモンゴル語でも用いられています。ロシア語で用いられるキリル文字の数は33字であり、キリル文字はギリシャ文字を基盤にしているため、ギリシャ文字と一致する文字も多くあります。国内のロシア語学習者が多くない事実を考えれば、キリル文字が読めるようになることは素敵なことかもしれません。

ロシア語を学ぶ理由は人によって様々でしょう。はっきり言ってしまえば、理由など何でもよいのです。別にロシアが好きでなくてもかまいません。ひとつだけ言えることは、ロシア語は学ばないより学んだ方がずっとよいものです。きっとあなたの視野を広げます。

ロシア語は難しい言語でしょうか

残念ながらロシア語は簡単な言語ではありません。学習者を増やす目的のために「難しそうに見えるけど実は簡単なのです」と述べるのが学習案内の常なのですが、嘘を言うわけにはいきません。どんな言語であれ、それぞれに固有の難しさがあるのは事実ですが、ロシア語は、簡単な言語だと思って学び始めるよりもむしろ、難しい言語なのだと肝に銘じて学び始めるのが得策だと思います。「難しい言語だから気合を入れて学ぼう!」と思ってほしいということです。発想を転換してください。簡単な問題は解いても面白くないでしょう。難しい問題を解いてこそ、達成感があるというものです。ロシア語はそういう言語です。

よく、ロシア語の難しさは文字にあると思っている人がいますが、それは違います。たしかに見たこともないような文字が多いように一見思われますが、ロシア文字は、英語などのローマ字と同じくアルファベット文字ですし、前述のように、数学で覚えたところのギリシャ文字と共通性もあります。また英語からの類推もききます。一橋大学の学生であれば、最初の2週の授業が終わるころには読めるようになります。発音も英語、ドイツ語、フランス語の難しさと同じくらいか、むしろそれらより簡単だと思います。それではロシア語の難しさはどこにあるのでしょうか。

ロシア語の難しさは文法にあります。ロシア語は、単語の語尾が、文中での働きに応じてさまざまに変化します。述語に対する文法的関係(主語か目的語か間接目的語かなど)によって名詞・形容詞が変化する「格変化」や、主語の人称(1人称、2人称、3人称)と数(単数、複数)によって動詞が変化する「人称変化」などがあります。名詞の「性」(男性、中

性、女性)による変化もあります。このような語形の変化は、実はヨーロッパの諸言語の特徴なのですが、古典ギリシャ語やラテン語などの古典語はこの特徴を持っているのに対して、現在広く学ばれているヨーロッパの現代語(英語、ドイツ語、フランス語など)はこの特徴をほぼ失ってしまっています。ところがロシア語をはじめとしたスラブ諸語はこの特徴を保持しており、この点において古風な言語であると言えます。それゆえ学習が困難になっているとも言えるのですが、ここでも発想を転換してください。現在も広く用いられている言語であり、かつ一橋大学で学べる言語の中で、「真のヨーロッパの言語らしさ(!)」を知ることができる言語はロシア語をおいてほかにありません。これはロシア語を学ぶ利点のひとつだと思います。

世界の諸言語を、ロシア語や古典ギリシャ語、ラテン語などのように語尾変化によって文法関係を表すような諸言語と、英語や中国語のように語順によってそれを表す諸言語と、日本語のように文法的機能に特化した語(いわゆる助詞、「てにをは」)でそれを表す諸言語とに大別することができます。皆さんは英語と日本語をすでに知っています。したがって3大種類の2つをすでに学んでいることになります。残されたのはロシア語のような言語だけです。英語、日本語に加えてロシア語を学ぶことは、世界の諸言語の3大類型を網羅することに等しく、ロシア語を知ることが、新たに別の言語を学ぶことを容易にします。ぜひ挑戦してみてください。

ロシア語文法は確かに容易に学習できるものではありませんが、理解するのが困難な事項から成り立っているわけではありません。ロシア語を構成する諸要素は誰でも理解できる単純なものです。ただ単に要素の数が多いだけです。したがって、ひとつひとつ着実に覚えていけば習得することができます。逆に言えば、根気強く、着実に学習しなければ、習得することはできません。他の言語と比較して、学習に真面目さがより要求されると言えるでしょう。ロシア語には覚えるべき文法規則の数が、おそらく想像をはるかに超えて多いこと、それを習得するためには、ひとつひとつを着実に覚えていくという姿勢が他の言語の学習時よりもさらに求められるということを肝に銘じてほしいと思います。

とはいえ文法規則が多いことには利点もあります。規則に従っていれば正しい答えを導くことができます。端的に言ってしまえば、ロシア語には曖昧なところがほとんどありません。文章を理解するときも、文意を一義的にとることができますし、書いたり話したりするときも、規則に従っていれば、正しいロシア語をアウトプットすることができます。このロシア語の利点は、基本的な文法を習得した後で実感することができます。ロシア語学習は「最初は難しいけれど、あとは簡単」と言われることがあります。それはロシア語の文法規則の数が多くことに起因します。つまり、ロシア語の学習を困難にしている要因が、学習の後期では、逆に容易にする要因として機能するということです。ロシア語を学び始めるのであれば、ぜひこの次元まで達してもらいたいと思います。ロシア語をやってよかったと思います。苦労したからこそ喜びも大きいのだと実感すると思います。

ロシア語はメジャーな言語です

わが国におけるロシア語学習者は非常に少ないですが、世界でロシア語を話す人々が少ないわけでは決してありません。事実逆です。

言語の話者数において、ロシア語は世界第8位と推定されており、ドイツ語、フランス語よりはるかに上位に位置しています。間違いなく、ロシア語は話者数が世界有数の言語のひとつです。日本語もロシア語と同じくらい話者数の多い言語ですが、両者の間の明らかな違いは、国外での話者数の数にあります。日本語は日本国内の話者数と、世界全体の話者数との間の差異がほとんどない（100 万人程度）に対して、（今般の情勢で変動が推定されるものの）ロシア語は約 1 億 6600 万人の話者のうち約 1,000 万人がロシア連邦外で暮らしています。ロシア連邦は多民族国家ですので、ロシア語はロシア連邦内において諸民族間の共通語として用いられていますが、それに加えてロシア国外でも広く用いられています。国連の公用語のひとつであることを言うまでもなく、ロシア語は主要な国際的言語のひとつです。つまり我が国におけるイメージとは大きく異なり、ロシア語は世界的な視野で見れば「メジャーな言語」のひとつであるわけです。このような言語がわが国であまり学ばれていないという事実はきわめて奇妙なことです。（同じことはヒンディー語やアラビア語にも言えるのですが。）いずれにせよ、ロシア語話者数と日本におけるロシア語学習者数とを比較すれば、ロシア語を学んだ人間の相対的な価値がいかに高くなるかわかりいただけると思います。

世界には実に数多くの言語が話されています。しかしながら、たとえ話者数の多い言語に限ったとしても、そのほとんどがわが国ではあまり学ばれていません。現代社会においては英語を習得することが必要であることは間違いありませんが、英語のみを用いてつながることのできる世界は、世界のすべてではありません。昨今は、英語を話せば国際人であるとみなす風潮があるように思われますが、国際的な視野を持ちたいと思う一橋大学の学生は、英語を通じて得られる知識は限定されているという事実を再認識する必要があると思います。わが国の隣国の公用語であり、話者数が 1 億 6 千万以上の言語を全く知らずにいるよりも、少しでも知っていたほうが良いと思いませんか。ロシア語を学ぶことは、間違いなくあなたの視野を広げます。